

2003 年度 W G 活動成果報告

(2004 年 3 月 26 日作成)

委員会名	エコロジカルシティ WG	主査名：三 浦 秀 一
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境設計小委員会	主査名：三 浦 昌 生
設 置 期 間	2 0 0 3 年 4 月 ~ 2 0 0 4 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	エコロジカルシティを計画するために基礎となる公共施設、上下水道、ごみ処理施設など、都市の基盤システムの現状と課題について把握し、環境負荷抑制を目指すために、具体的な計画方法を提示する。	
委員構成 (委員名(所属))	三浦秀一(東北芸術工科大学) 村上公哉(芝浦工業大学) 小島康太郎(パシフィックコンサルタンツ) 須藤諭(東北文化学園大学) 中口毅博(芝浦工業大学) 中島裕輔(工学院大学) 長野克則(北海道大学) 松原齋樹(京都府立大学) 依田浩敏(近畿大学)	
2003 年度予算	100,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2003 年 5 月 9 日 5 名 2003 年 7 月 10 日 2 名 2004 年 3 月 11 日 4 名
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>地方自治体が多く公共施設を抱え、エネルギー消費も相当量に達することが明らかになった。しかしながら、都市基盤システムとして総合的な利用は必ずしも進んでおらず、より効率的な計画が求められる。こうした提案に向けた概念整理を行い、先進事例について情報収集を行うことができた。</p> <p>バイオマス・ニッポンとして国策にも位置づけられている、バイオマスについては、地方中小都市で注目が高まっており、本WGの課題として取り上げ、今後の重点テーマとすることとなった。また、社会的なシステムづくりの重要性も確認された。</p> <p>ホームページ等での公開は現在行っていない。</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>公共施設、上下水道、ごみ処理施設など、既存の都市基盤システムの現状と課題についてはある程度情報収集ができた。また、新たなシステムづくりとして、バイオマスの可能性にも着目することができた。</p>
その他評価すべき事項	